



令和7年2月1日

寒さが一段と増す時期となりました。子どもたちは冷たい風に頬や鼻を赤らめながらも、元気に戸外に出て遊んでいます。

1月は本園にたくさん遊びに行きました。初めの頃は、場所見知りや人見知りをして、保育者から離れようとしなかったり、固まってしまったりと泣いていた子どもたち。しかし、行事に参加したり遊びに行っているうちに少しずつ本園にも慣れてきて、本園の職員に「ばいばい」と手を振ったり、「たち」と言っていたちをする姿も見られるようになってきました。ホールに行くまでの階段は、子どもたち自身が自分で上ることが出来るように援助をしています。初めの頃は泣いて上ることが出来なかった子達も、「わんわん」と言いながらハイハイの姿勢で全員が階段を上ることが出来るようになりました。また、発表会に向けて舞台の上でも過ごしてきました。泣いてしまう子や固まってしまいう子もいましたが、音楽を流したり、巧技台遊びを行っているうちに少しずつ舞台にも慣れてきた子どもたちです。発表会当日は、普段と違う雰囲気泣いてしまったり、表情や動きが固くなってしまいう子もいるかと思いますが、可愛い子どもたちの姿を温かく見守って頂けたらと思います。

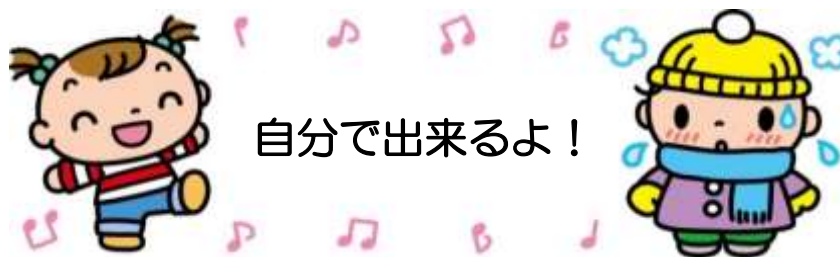


○今月のねらい

- ・身の回りのことを保育者と一緒に行う。
- ・散歩に出かけたり、追いかっこをしたりと体をたくさん動かす。

○活動内容

- ・散歩（本園・石川橋公園・赤徳公園など）・追いかっこ・ボール遊び
- ・指先遊び・体操遊び・巧技台遊び・感触遊び など



戸外に行く支度では、「帽子取ってきてね」「靴下はこうね」などと声を掛けることで帽子や靴下がある場所へ行き、自分で帽子をかぶったり、保育者に手渡すことで一緒にかぶったりしています。また、靴や上着などの場所も覚え、「次は～取ってきてね」と保育者が言った言葉を理解して自分で行動することが出来るようになってきました。保育者が出来たことを褒めると嬉しそうな笑顔を見せてくれる子どもたちです。今は靴や靴下の脱ぎ履きのやり方を教えたり、保育者と一緒に行っているところです。

ぜひ、お家でも声掛けをして行動を促したり、大人が全て行ってしまおうのではなく、子どもたちがやろうとしている姿を見守ったり、一緒に行っていきながら自分で出来た喜びを感じられるように関わって頂けたらと思います。